

看護管理特論

[講義] 1年・2年 選択 30時間 2単位

《担当者名》福井純子[sfukui@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

臨床現場において高度な実践をする看護職が、看護管理に携わる看護職や多職種と連携・協働する際に求められるマネジメントの力を身につけることを目指す。

本講では、組織としてのチームをマネジメントするために必要な諸知識や、問題解決のための方法について学び、臨床現場での活用について考える。

【学修目標】

- 1) マネジメントに関連する諸理論について、概念・特徴を説明できる。
- 2) マネジメントに関連する諸理論を基に、臨床現場の状況に即したマネジメントについて考えられる。
- 3) 臨床現場で起きている現象の本質を捉え、問題解決する方法を習得できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	看護管理の概要	・看護管理の概要 ・臨床における看護管理の意義	福井
3) 4	組織マネジメント	・組織マネジメントに関する諸理論と組織分析の方法 ・高度な実践をする看護職が、組織内で役割を果たす上で必要となる管理者との連携・調整と役割発揮	福井
5) 6	医療・看護におけるサービスマネジメント	・医療・看護の特性を踏まえたサービスマネジメントの考え方 ・高度な実践をする看護職に求められるサービスマネジメントの実践への活用	福井
7) 8	専門職としてのキャリア自律	・専門職としての看護職のキャリア自律の考え方と支援のあり方 ・自分自身のキャリアビジョンの再考	福井
9) 10	専門職としてのリーダーシップ	・リーダーシップの諸理論 ・自分自身のリーダーシップスタイルへの活用	福井
11) 12	臨床現場にいかす看護制度・政策	・看護制度の変遷と課題、政策の基本的な考え方 ・臨床現場から政策提言していくことの重要性と方策	野村陽子（特別講師） 福井
13) 14	チーム医療推進における看護職の役割	・チーム医療における現在の看護職の専門性と役割	野村陽子（特別講師） 福井
15	臨床現場で活用する問題解決法	・臨床現場で起きているマネジメントが求められる課題の整理と解決法 ・本質の洞察と問題解決の実際	福井

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

課題レポート（40%）、プレゼンテーション（30%）、ディスカッションへの参加状況と講義内容の理解（30%）を総合評価する。

【教科書】

野村陽子(2015)．看護制度と政策，法政大学出版局．（「臨床現場にいかす看護制度・政策」講義時使用）

【参考書】

井部俊子,他監修．看護管理学習テキスト．第1～5巻，別巻，日本看護協会出版会．
その他の参考書は、初回授業で提示する。

【学修の準備】

受講生のプレゼンテーションを中心に進める回については、担当者はディスカッションの論点を明確にした準備をして臨むこと。

指定した教科書については、通読した上で講義内でのディスカッションに向けた準備をして講義に臨むこと。

【学修方法】

- 1) 講義、または受講生のプレゼンテーションとディスカッションを中心に進める。
- 2) 各授業終了後には、リアクションペーパーを活用して授業内容の理解と学びの整理をする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。